

金沢M a a Sコンソーシアム第9回幹事会 議事要旨

- 1 日 時 令和4年6月8日（水）
2 方 法 書面開催
3 出席者

区 分	職 名	出 席 者	
		役 職	氏 名
正会員	代 表 幹 事	北陸鉄道(株) 取締役企画開発部長	加藤 大勝
	代表幹事代理	金沢市 都市政策局担当次長（兼） 交通政策課長	近藤 陽介
	幹 事	西日本旅客鉄道(株) デジタルソリューション本部 M a a S 企画室長	神田 隆
	幹 事	西日本ジェイアールバス(株) 北陸支店長	大久保範繁

- 4 議 事 ①「金石・大野周遊シャトルバスデジタル乗車券」の提案
及び「金石・大野周遊シャトルバスデジタル乗車券部会」の設置
②令和4年度事業計画変更（第2回）

■議事内容

- ①「金石・大野周遊シャトルバスデジタル乗車券」の提案
及び「金石・大野周遊シャトルバスデジタル乗車券部会」の設置

【概要】

金沢市が別途実施する「金沢港周辺地域活性化周遊シャトルバス運行実験事業」は、有料化してから3年目を迎えるが、従来の乗車券販売方法である対面による現金販売に加え、「のりまっし金沢」でも販売することで、観光客の金石・大野方面の回遊性向上につなげる。

【実験期間（予定）】

令和4年7月～9月

- ・原案どおり承認

- ②令和4年度事業計画

1. コンソーシアムの運営

- ・総会等を通じた会員間における情報共有
- ・新規プロジェクトの提案募集・事業化、作業部会の設置

- ・「のりまっし金沢」の維持管理
- ・金沢M a a S コンソーシアムのロゴマークの制作 等

2. 実証実験の実施

①交通・まちなかクーポン連携実証実験

(1) 概要

公共交通の利用回復及びまちなかへの集客を促進するため、民間開発データ連携基盤と連携することで、「のりまっし金沢」に商業施設等で使用できるクーポン表示機能を追加するとともに、「のりまっし金沢」と当該民間開発データ連携基盤とで取得できる移動データ等を共有・活用し、交通課題の導出（例：バス通勤者の利用時間帯が限定的である）や対策を検討

(2) 実証実験期間（予定）

クーポン表示機能追加：令和4年5月から令和5年1月まで

②石川線・バスの乗継円滑化実験

(1) 概要

鉄道とバスの乗り換え抵抗を軽減し、石川線の需要拡大を図るため、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」を活用した鉄道・バスの乗り継ぎ円滑化実験を行う。

(2) 実験期間（予定）

令和4年7月～令和5年3月

③「のりまっし金沢」ネイティブアプリ化

(1) 概要

コロナ禍で来街者が大幅に減少している中で、公共交通利用を回復するにはまず住民への働きかけが重要であり、頻繁な利用に適し、位置情報の取得や年末年始の混雑状況等のプッシュ通知の活用が可能なネイティブアプリを開発する。

(2) 運用開始（予定）

令和4年9月

新④金石・大野周遊シャトルバスデジタル乗車券

(1) 概要

金沢市が別途実施する「金沢港周辺地域活性化周遊シャトルバス運行実験事業」は、有料化してから3年目を迎えるが、従来の1日フリー乗車券の販売方法である対面による現金販売に加え、「のりまっし金沢」でも販売することで、観光客の金石・大野方面の回遊性向上につなげる。

(2) 実験期間（予定）

令和4年7月～9月

3. 令和5年度事業の検討

- ・原案どおり承認